

二度とないこの瞬間を  
全力で鳴らせ

# BLUE GIANT

原作：石塚真一「BLUE GIANT」(小学館「ビックコミック」連載) 監督：立川譲 脚本：NUMBER 8 音楽：上原ひろみ  
キャラクターデザイン・総作画監督：高橋裕一 メインアニメーター：小丸敏之 牧孝雄 ライフディレクション：シュウ造高 木村智 廣瀬清志 立川譲  
プロップデザイン：牧孝雄 横山なつき 美術監督：平柳雄 色彩設計：堀川佳典 撮影監督：東郷香澄 3DCGIディレクター：高橋裕人 編集：廣瀬清志  
宮本 大：山田裕貴 / 馬場智章 (サクセス) 沢辺雪祈：間宮祥太朗 / 上原ひろみ (ピアノ) 玉田俊二：岡山天音 / 石若 駿 (ドラム)  
アニメーション制作：NUT 製作：映画「BLUE GIANT」製作委員会 配給：東宝映像事業部

2.17 FRI

圧倒的サウンドが  
劇場を(熱く)包み込む

世界一のジャズプレイヤーになる……! 累計900万部突破の人気コミックスが待望の映画化!

# 原作 石塚真一 × 監督 立川譲 × 音楽 上原ひろみ 熱くて、激しい、青春が、スクリーンで鳴り響く!

## INTRODUCTION

2013年に石塚真一が「ビッグコミック」(小学館)で連載を開始した漫画「BLUE GIANT」(シリーズ累計:900万部超)。その圧倒的表現力は多くの読者を魅了し、“漫画から音が聞こえてくる”とも評され、現実のジャズシーンにも影響を与えている。

その「BLUE GIANT」が、「最大の音量、最高の音質で、本物のジャズを届けたい」という想いから、映画化される。監督は、「モブサイコ100」シリーズや劇場版『名探偵コナン ゼロの執行人』(18)で注目の立川譲。脚本は、連載開始前からの担当編集者で、現在は story director として作品に名を連ねる NUMBER 8。アニメーション制作は「幼女戦記」(17)などで注目のスタジオ・NUT が手掛ける。

そして主人公・宮本大の声には、原作を読みひたむきに夢を追う大の姿

に自身もシンパシーを感じていたという山田裕貴。大が東京で出会うピアニスト・沢辺雪祈に間宮祥太郎、そして大に感化されドラムを始める玉田俊二を岡山天音と、数々の話題作に出演し、目覚ましい活躍をみせる豪華俳優陣がキャラクターに命を吹き込む。また、“音”の面でも最高のスタッフが集結。音楽は、世界的ピアニストの上原ひろみが担当。上原は、主人公たちのオリジナル楽曲の書き下ろしをはじめ、劇中曲を含めた作品全体の音楽も制作する。また、主人公たちのバンド・JASSの演奏を支えるアーティスト陣も豪華なメンバーが揃った。サクソ(宮本大)は、国内外のトップアーティストが集まるオーディションを経て選ばれた馬場智章。ピアノ(沢辺雪祈)は、音楽の上原ひろみ自身が演奏し、ドラム(玉田俊二)の演奏は millennium parade 等、多数のアーティストから支持を集める石若駿が担当。最高のジャストリオの演奏が作品を彩る。

## STORY オレは世界一のジャズプレーヤーになる。

ジャズに魅了され、テナーサクソを始めた仙台の高校生・宮本大。雨の日も風の日も、毎日たったひとりて何年も、河原でテナーサクソを吹き続けてきた。

卒業を機にジャズのため、上京。高校の同級生・玉田俊二のアパートに転がり込んだ大は、ある日訪れたライブハウスで同世代の凄腕ピアニスト・沢辺雪祈と出会う。

「組もう。」大は雪祈をバンドに誘う。はじめは本気で取り合わない雪祈だったが、聴く者を圧倒する大のサクソに胸を打たれ、二人はバンド

を組むことに。そこへ大の熱さに感化されドラムを始めた玉田が加わり、三人は“JASS”を結成する。

楽譜も読めず、ジャズの知識もなかったが、ひたすらに、全力で吹いてきた大。幼い頃からジャズに全てを捧げてきた雪祈。初心者者の玉田。

トリオの目標は、日本最高のジャズクラブ「So Blue」に出演し、日本のジャズシーンを変えること。

無謀と思われる目標に、必死に挑みながら成長していく“JASS”は、次第に注目を集めるようになる。「So Blue」でのライブ出演にも可能性が見え始め、目まぐるしい躍進がこのまま続いていかに思えたが、ある思いもよらない出来事が起こり……。

## 情熱の限りを音楽に注いだ青春。その果てに見える景色とは――。



劇場内の映画の  
撮影風景はご覧です  
www.nigakan.org  
0120-550098

